

山元議委発第52号
令和元年6月13日

山元町議会議長 阿部 均 殿

産建教育常任委員会
委員長 高橋 建夫

所管事務調査報告書

本委員会は、所管事務調査を下記のとおり終了したので報告します。

記

1 調査事項

- | | |
|----------------------|-------------|
| (1) 小・中学校エアコン設置について | 4月19日 |
| (2) 総合教育会議について | 4月19日・5月17日 |
| (3) 商工観光交流課の取り組みについて | 5月17日 |
| (4) パークゴルフ場について | 5月17日 |
| (5) 茶室について | 5月17日 |

2 調査結果

- (1) 小・中学校エアコン設置について
次の事業内容に対する疑問から調査を行い、説明を受けた。
- ①仕様条件について
 - ②事業費について
 - ③工期について 等

意見

実施設計において見直しを行い、子供達の学校生活に影響のない範囲で予算の削減が図れたことに対しては評価できるが、結果として他自治体より高額になった。入札における最低価格の設定方法に関して大きな疑問が残った。

検討段階から、議会の意見や指摘事項に耳を傾ける姿勢が不足していたことは大きな問題である。

(2) 総合教育会議について

①大綱を毎年見直ししているのはなぜか。

②教育基本計画との整合性について

③議事録の未作成、未公表はなぜか。

山元町総合教育会議の要綱や運営状況について調査した。

意見

大綱の見直しについては文部科学省の指針に沿って進めるべきである。

小・中学校再編に係る住民や議会の意見・要望について、協議・検討するべきである。

議事録については指摘後、早急に作成、公表しているが、このようなことが二度と起こさないように猛省を促す。

(3) 商工観光交流課の取り組みについて

交流人口増加、雇用創出などを目的とした組織再編による商工観光交流課（商工振興班、観光交流推進班）の事務事業概要について調査し、説明を受けた。

意見

商工振興班では企業誘致、雇用問題、また観光交流推進班では四方山の環境整備や、今後の農水産物直売所運営等、定住促進や経済効果につなげるかが課題である。

特に、農水産物直売所については、複合型の施設整備（飲食・農業体験・宿泊施設など）を進め、更なる交流人口増加と賑わいの創出を図るべく、積極的な施策の展開を目指すべきである。

(4) パークゴルフ場について

運営の可能性について調査した。

事業可能性調査においては、市場調査と採算性調査に分けて取り組んでおり、採算性調査の結果について18ホールや36ホールでは採算がとれず、54ホールであれば運営可能であるとの調査結果の説明を受けた。

意見

近年、県内、また近隣市町において、施設整備が相次いでいることによりパークゴルフ施設が年々増加している。年間利用者数の推測値や施設用地が特定していないことにより、今回の調査報告（結果）に含まれていない多額の費用が見込まれることなどから、調査結果に大きな疑問が残る。また、財政シミュレーションとの整合性も重要である。現段階での施設整備に賛成できない。よって、今後も継続的に調査する必要があると判断した。

(5) 茶室について

山元町指定文化財「茶室」について調査し、保存整備と今後の活用について、説明を受けた。

- ①整備に至る経緯について
- ②保存整備・活用スケジュールについて
- ③基本計画見直し想定項目について

意見

案として、令和3年度に整備を完了し、令和4年度より供用開始予定との説明を受けたが、交流人口増につながると考えられるため、できるだけ早期の供用開始を目指していくべきである。